

国際銅研究会（ICSG）2024年9月総会報告

2024年9月27日

日本鉱業協会 企画調査部

2024年の秋季国際銅研究会（ICSG）総会は、9月24日、25日（現地時間）にポルトガルのリスボンにて行われ、加盟国政府代表及び業界の代表者が会議に参加した。日本からは政府代表が参加した。9月26日付けでプレス発表された世界の銅需給見通しは次の通りである。

1. 2024年と2025年の世界の銅需給予測（添付 世界の銅需給総括表参照）

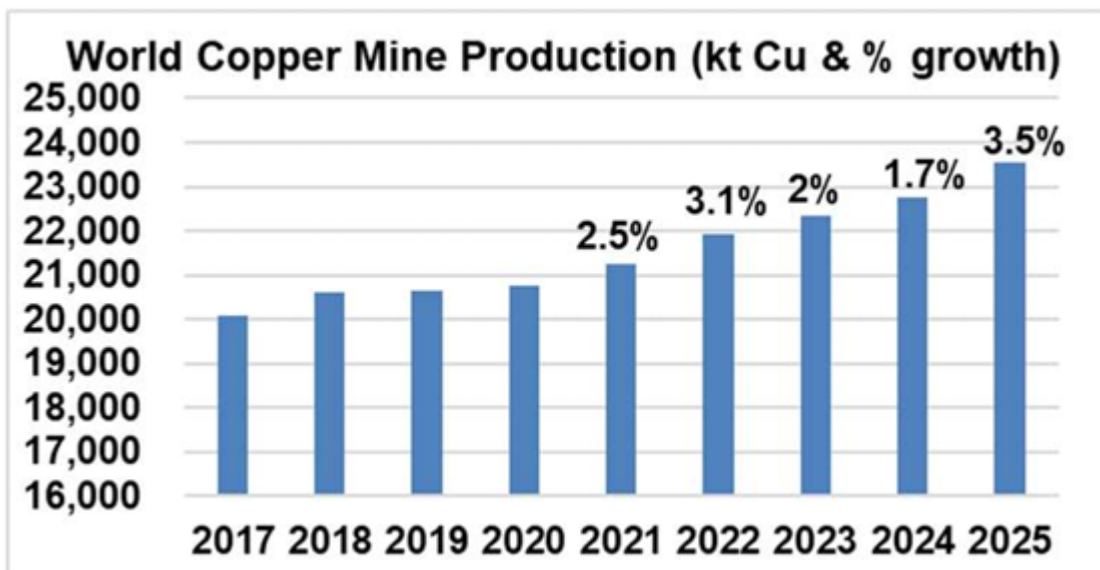
1) 銅鉱石生産

世界の銅鉱石生産量は、対前年比で、2024年は1.7%、2025年は3.5%、それぞれ増産と予測される。

今回の予測では、2024年の増加率は2023年の2.0%から下回る。新規プロジェクトの立ち上げ・既存鉱山の拡張はあったものの、ファースト・クアンタム社の年産33万トンのコブレ・パナマ鉱山閉鎖による減産分を相殺できなかったことが要因。

2024年暦年上半期での銅鉱石生産量は、グラスベルグ鉱山、エスコンディータ鉱山の減産からの回復、テンケ・フングルメ鉱山、ケブラダブランカ2鉱山の拡張により4.5%増加した。

2025年には、コンゴ民主共和国のカモア・カクラ鉱山と、モンゴルで坑内掘りに移行したオユ・トルゴイ鉱山の増産、ロシアのマルミシュコエ鉱山の操業開始を主な要因として、3.5%の増産が予想される。また、中小鉱山の操業開始と拡張も鉱石増にわずかながら寄与する。



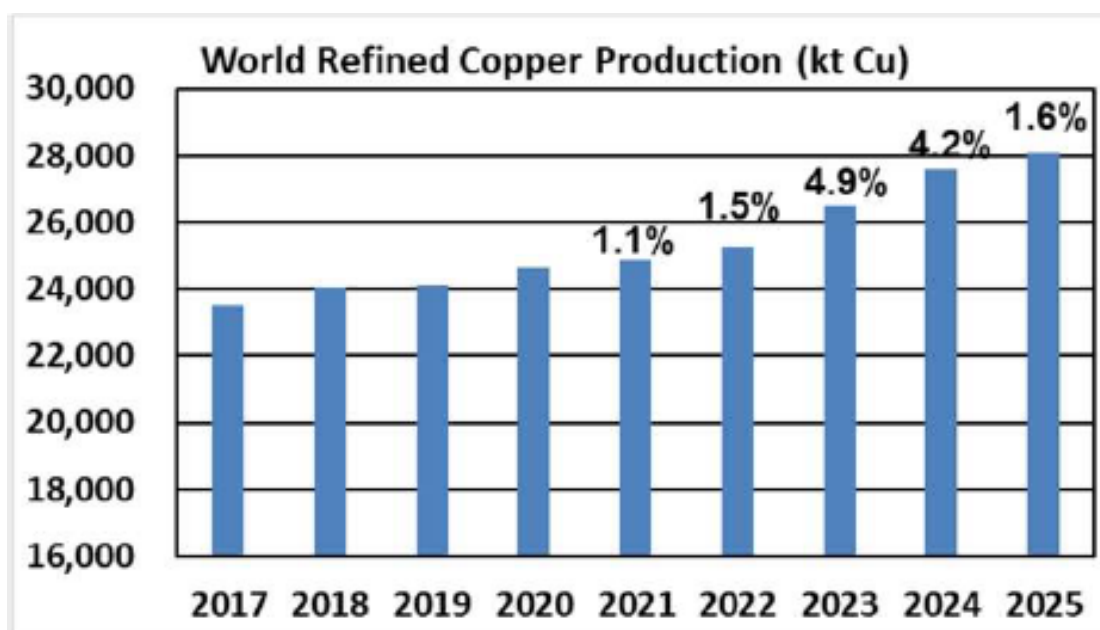
2) 銅地金生産

世界全体の銅地金生産量は、対前年比で 2024 年に 4.2%、2025 年に 1.6%それぞれ増加と予測される。

2024 年の銅地金生産量は、チリ、日本、インド、インドネシア、米国を含む主要生産国で、2023 年中の定修や、操業不調が解消されて増産になる見込み。

同時に、コンゴ民主共和国 (SX-EW) と中国 (電解) における製錬所の新設・増設による増産と、スクラップ由来の銅の更なる増産も見込まれる。

2025 年の増加率は、2024 年より低くなると予測される。中国での電解処理能力の更なる増強とインドネシアとインドにおける新規の製錬所の立ち上げが増産に寄与するものの、鉱石由来の生産量の増加は銅精鉱の供給制約があり、小幅な増加にとどまると予想される。しかし、SX-EW 由来の生産量は 2.5%増産、二次原料由来の生産量は、処理能力の増強により 6.0%増産すると予想される。



3) 銅地金消費

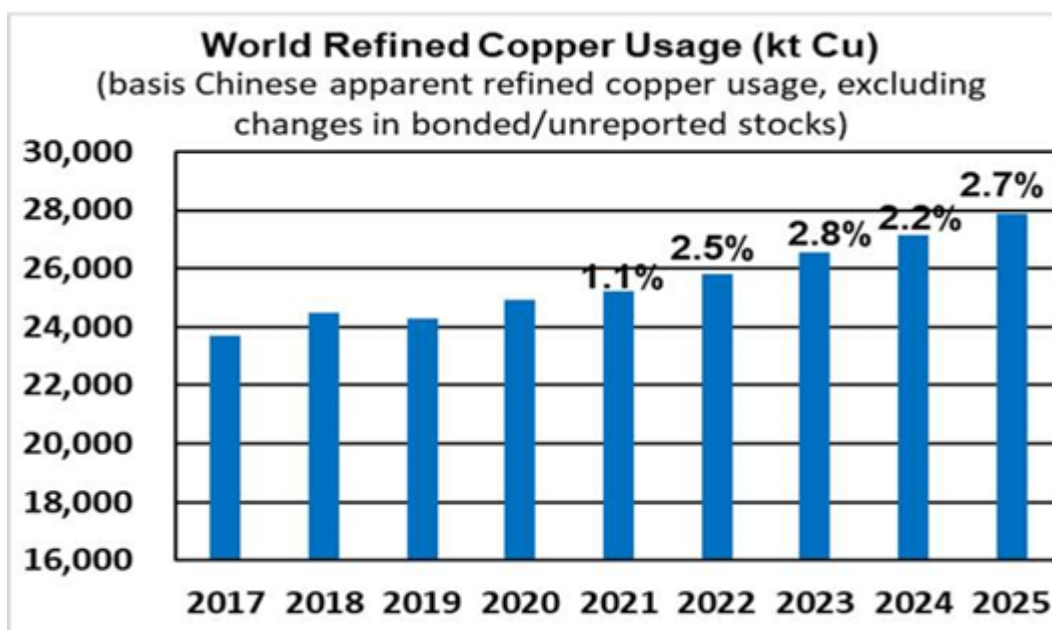
世界の銅地金見掛消費量は、対前年比で、2024 年に約 2.2%、2025 年に約 2.7%の増加と予測される。

今回の予測での世界全体の増加率は、前回の 2024 年 4 月の予測とほぼ同じであり、EU を中心とする多くの国で下方修正されたが、その他の国々の上方修正により相殺された。

中国の消費量は 2024 年に約 2.0%、2025 年には 1.8%増加すると予想される。

中国を除く世界の消費量は、2023 年に 3.0%減少した後、2024 年に 2.4%、2025 年に 3.7%の増加と予想される。これは主にインドとその他多くの国々における銅加工設備の増

強によるものである。



銅は経済活動、特に現代の技術社会において不可欠である。加えて、主要国におけるインフラの拡充と、クリーンエネルギーと電気自動車の普及という世界的トレンドが、長期にわたる銅需要増加要因となるだろう。

4) 銅地金需給バランス

世界の銅地金需給予測は、2024年には約46万9千トン、2025年には約19万4千トン生産が消費を上回る見込み。

ICSGは、グローバル市場のバランスは様々な需給要因により変化するものであると認識している。そのため、予見できない要因により、実際の需給がICSGの予測から逸脱することは起こりうる。

ICSGは、グローバルな市場需給予測の際に、中国の在庫（国家備蓄、生産者、消費者、貿易業者、保税区域）の増減は考慮に入れていない。これらの在庫は、在庫積み増しや、放出によっては世界の需給を大きく変える要因である。なお、中国の見掛け消費量は（生産＋輸入－輸出＋／＋SHFE 在庫増減）によって算出している。

ICSGは、2024年の需給バランス予測について、2024年4月（前回予測）の16万2千トンの生産過剰から、今回予測の46万9千トンの生産過剰へ修正しました。2025年の需給については約19万4千トン生産が消費を上回る見込み。

2. ICSGの次回総会日程

2025年4月にポルトガル リスボンにて開催予定。

銅地金需給予測

World Refined Copper Usage and Supply Forecast

Thousand metric tonnes, copper

REGIONS (^{'000 t Cu})	COPPER MINE PRODUCTION			REFINED COPPER PRODUCTION			REFINED COPPER USAGE		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
Africa	3,665	3,981	4,422	2,409	2,614	2,926	184	187	180
N.America	2,340	2,432	2,531	1,574	1,689	1,676	2,133	2,188	2,255
Latin America	8,862	8,631	9,059	2,514	2,350	2,403	381	395	405
Asean-10	1,063	1,143	1,078	454	636	1,177	1,151	1,220	1,306
Asia ex Asean/CIS	2,587	2,654	2,925	14,907	15,642	16,232	18,743	19,223	19,750
Asia-CIS	983	1,010	1,072	499	517	531	107	107	107
EU	760	766	800	2,467	2,467	2,524	2,985	2,934	2,969
Europe Others	1,241	1,332	1,514	1,234	1,266	1,352	871	897	902
Oceania	866	858	852	445	450	452			
TOTAL	22,367	22,807	24,252	26,503	27,632	29,272	26,556	27,150	27,875
World adjusted 1/ 2/	22,367	22,746	23,541	26,503	27,619	28,068	26,556	27,150	27,875
% change	2.0%	1.7%	3.5%	4.9%	4.2%	1.6%	2.8%	2.2%	2.7%
World Refined Balance (China apparant usage basis)							-53	469	194

1/ Based on a formula for the difference between the projected copper availability in concentrates and the projected use in primary electrolytic refined production.

2/ Allowance for supply disruptions based on average ICSG forecast deviations for previous 5 years.